

2026年7月27日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
(コード番号：4572)
問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美
(TEL： 078-302-7075)

チーフビジネスデベロップメントオフィサー（CBDO）の設置に関するお知らせ

当社は、本日、チーフビジネスデベロップメントオフィサー（以下、「CBDO」）を設置し、栗原伸和氏（薬学博士）が就任したことをお知らせいたします。

同氏は、第一三共株式会社および米国Daiichi Sankyo, Inc.において30年以上にわたり事業開発およびライセンス業務に従事してまいりました。また、第一三共株式会社事業開発部長としてグローバルな事業開発活動を統括するなど、医薬品事業開発分野において豊富な経験と実績を有しております。

同氏のCBDO就任は、当社の事業開発機能を一層強化し、創薬パイプラインの価値最大化に向けた導出活動や戦略的提携の推進に大きく寄与するものと考えております。

チーフビジネスデベロップメントオフィサー（CBDO）

氏名： 栗原 伸和

略歴： 薬学博士。1992年に三共株式会社（現 第一三共株式会社）に入社し、創薬研究、事業開発およびライセンス業務に従事。日本および米国において事業開発業務に携わり、導入・導出、提携およびアライアンスマネジメントに携わった。第一三共株式会社において事業開発部長およびグローバルアライアンスマネジメント機能ヘッドを務めるなど、医薬品事業開発分野において豊富な経験と実績を有する。

以上

（カルナバイオサイエンスについて）

カルナバイオサイエンス株式会社は、アンメット・メディカル・ニーズの高い未だ有効な治療方法が確立されていない疾患を中心に、特にがん、免疫・炎症疾患を重点領域として画期的な新薬の開発を目指して研究開発に取り組んでいるバイオベンチャー企業です。

現在までに、複数のパイプラインの導出実績があり、現在、臨床開発段階にある3つのパイプラインを保有しています。そのうち、BTK阻害剤 docirbrutinib (AS-1763、対象疾患：CLLなどの血液がん)については、米国において、テキサス大学MDアンダーソンがんセンター白血病科教授 Nitin Jain医師を治験主導医師として、フェーズ1b試験を実施中です。(NCT05602363)

また、CDC7阻害剤 monzosertib (AS-0141) については、急性骨髄性白血病（AML）を対象として米国食品医薬品局（FDA）よりオーファンドラッグ指定（ODD）を取得しており、現在、米国テキサス大学MDアンダーソンがんセンターと協力して臨床開発を推進しています。

当社ホームページ： <https://www.carnabio.com/japanese/>